

# 明治の偉業を肌で感じながら。 “煉瓦づくり”の下水道管



# 宮城

## — 仙<sup>も</sup>台市 杜の都れんが下水洞窟 —

明治33年(1900年)の完成から100年以上経った今でも使用されている、仙台市の煉瓦下水道。下水道管の内部には、「洞窟」のような雰囲気があります。

この煉瓦下水道は、歴史的価値が高く評価され、平成22年度には土木学会選奨土木遺産に認定されました。常時、地上の天窓からのぞくことができるほか、定期的に行われる見学会では、広瀬川につながる下水道管の一部に入ることができます。

明治時代から市民の生活を支え続ける下水道の歴史と先人の偉業に、是非思いをはせてみてください。

毎月見学会を実施しております。施設の詳細、見学会のお申し込みはHPもしくはお電話にて。  
※見学会は事前予約制、荒天中止

<http://www.city.sendai.jp/keekikaku-shomu/kurashi/machi/lifeline/gesuido/gesuido/koho/gkp.html>

(お問合せ)

仙台市建設局下水道経営部経営企画課  
TEL 022-214-8812



▲地上部の天窓から下水道管を見ることができます。



▲現役の下水道管に入ることができる全国的にとっても珍しい施設です。

